

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2024年 4月 12日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	隆昌汽船有限会社
所在地	〒742-1402 山口県熊毛郡上関町大字長島 295-2
代表者役職・氏名	代表取締役 田中 陽
担当者連絡先	電話：0820-62-0464
	メール：akira.t@ryusyo-k.jp
ウェブサイトURL	

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は1985年3月に法人化された海運業者であり、主に国内西日本を中心に需要家向け荷主から預かる貨物を安全に送り届けるため、船員の配乗・船舶管理を生業としている。</p>
--

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	船内廃棄物の取扱い規則の遵守	船内廃棄物の適正管理に努め、海洋汚染防止を徹底する。
□環境 ✓社会 □経済	船員の年1回の健康診断を実施	データの定期的取り纏めにより有効期限を管理し、船員の健康経営を推進する。
□環境 □社会 ✓経済	地元企業の優先起用(船舶の修繕・検査など)	地元メンテナンス企業の少人化への対応。 (通常の業務に定期保守整備の確立) 地元メンテナンス企業の定期的な利用。

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	【予定】ハラスメント防止研修の実施				5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・週40時間勤務の推奨 ・船員の労働時間管理							8.5 8.8										
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	起用管理会社への外国人船員の雇用状況の定期的な確認				4.4			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・年1回の消防訓練の実施 ・月/1回の船員への安全教育の実施				3			8										
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	船員への健康指導の実施				3													
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	高齢船員の雇用推進				5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している					4	5.5		8	9									
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3								
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	船員の1年に1回の健康診断を遵守させるため、定期的に有効期限を管理する。				3			8										
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・使用済みプラスチックトレーをリサイクル資源として扱う。 ・裏紙利用を推進 ・船内廃棄物の取扱い規則の遵守										11.6	12.4 12.5		14.1				
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	運航効率を推進するため、低負荷運転を実施							7.3					13					
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	運航効率を推進するため、低負荷運転を実施							7.2 7.3				12.4	13.3					

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・バラスト水処理装置の設置 ・海難事故などによる海洋汚染防止の徹底					6.6									15			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	適切な排水処理を行い環境負荷を低減する。					6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9		6	7					12	13.3	14	15				
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している											12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる						7.2						13						
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる											12.2	13	14	15				
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	国内物流の安全・安定輸送に向けての管理体制整備を実施		3.9								12.4							
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	船舶安全運航マニュアルの構築								9									
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる					6						12	13	14	15				
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	国内の海上物流の円滑化に貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	地元メンテナンス(修繕・検査)企業の少数化に備えて、通常の業務に定期保守整備を確立する。			4						9	11	12		14	15		17	
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	地域イベントへの寄付ならびに参加を推進する。			4							11			14	15		17	
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	地元メンテナンス(修繕・検査)企業を定期的に利用し、生産性の向上を図る。							8	9		11	12	13					

